



回復期リハビリテーション病棟協会 セラピスト10か条(第2版)

平成30年2月

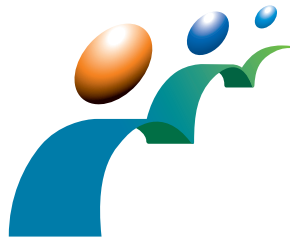
1. リハビリテーションマインドをもって
専門職の使命を果たそう
2. 心身機能の改善を図ろう
3. 生活場面でのADL向上を促進しよう
4. ADLの獲得に向けて
適切な装具・車椅子・福祉用具を導入しよう
5. 患者の行動と疾病の危険徴候を見逃さず、
事故や感染を予防しよう
6. カンファレンスは、定期的に多職種で開催し、
今後の方向性を多職種で検討・一致させよう
7. 記録や情報伝達は
多職種が理解できる内容、言葉で表現しよう
8. 病棟や在宅で介護を担う家族や介護者とともに、
ケア方法を検討しよう
9. 退院に向けての環境調整は、過不足なく行い、
地域スタッフに繋いでいこう
10. 患者に寄り添い、その人らしい社会参加を支援しよう



回復期リハビリテーション病棟協会 セラピストのマネジメント 5か条(第1版)

平成30年2月

1. チーム組織・業務体制を整え、改善活動を推進しよう
2. 専門性・協働性・主体性のある人材を育てよう
3. データを収集・分析し、質向上に活用しよう
4. 収益・費用を健全化し、適切なサービスを維持・向上しよう
5. 機器・備品を整備し、安全で衛生的な病院環境をつくろう



回復期リハビリテーション病棟協会 PT・OT・ST 5か条(第1版)

平成29年2月

PT 5か条

1. 筋力、関節可動性、姿勢バランスなどの運動機能を回復させよう
2. 全身の部位・状態などを観察し、不動による疼痛・虚血を予防しよう
3. 呼吸・循環機能を高め、社会生活に必要な体力の向上を図ろう
4. 課題にそった運動学習を促し、実際的な基本動作を高めよう
5. ADLの自立に向けて運動療法、物理療法などを駆使しよう

OT 5か条

1. ADL・IADLの実施状況を評価・介入し、生活機能向上につなげよう
2. 生活行為に活かせる身体機能/操作機能の改善・獲得に取り組もう
3. 認知・行為、心理的側面を包括的に捉え、
その人らしい生活の実現を援助しよう
4. 自助具や福祉用具を駆使し、
対象者を取り巻く環境を調整することで生活機能を充実させよう
5. 地域生活の拡大・充実(再建)に向けて個別性のある支援を行おう

ST 5か条

1. コミュニケーション機能の改善をはかり、意思疎通の向上に努めよう
2. 生活の場でコミュニケーション環境の調整を行い、社会参加を促そう
3. 摂食嚥下機能を高め、経口摂取を目指そう
4. その人らしい食のあり方を提案し、
安全で安心な食事のあり方を提示しよう
5. 高次脳機能障害を評価し、生活の再構築に向けた介入をしよう